



北海道バスケットボール協会
指導者育成専門委員会
2014/05/16(金)

タクティクス (HBA指導者育成専門委員会ブログ)

NO. 146

東日本大震災復興支援

第45回全国ミニバスケットボール大会 観戦記

ブロック優勝 おめでとう！ 札幌緑（女子）

指導者育成専門委員 杉本 浩

1. 始めに

震災復興支援ということもあり、開会式には東北各県の会長さんが多く参列し、選手達も「支援に感謝します」などの横断幕を掲げて入場していた。北海道は先頭で入場した。

2. 予選リーグ・男子 一試合目

3月28日（金）11:35～ 代々木第一体育館Cコート

苫小牧美園ミニバスケットボール同好会 VS 福岡県 山口ミニバスケットボールクラブ

- 1 Q. 小学生離れした美園 # 4 と山口 # 5 の長身者同士のジャンプシュートの応酬で、美園が先制したこともあり3点リードで終わる。(12-9)
- 2 Q. 始めは美園の攻防とも動きが悪かったが、3分過ぎから良くなりダブルスコアとリードを広げる。(8-4) **前半(20-13)**
- 3 Q. 互いにベストメンバーで臨んだ。前半と同じく両チームとも2・3や2・1・2のゾーンで守り、互角に終わる。(6-4)
- 4 Q. 中盤のプレスに引っ掛かりボールを運べず点差が縮まった。1点差になったところでタイムアウトを取り # 8 を投入するも得点は伸びず2ゴール差で敗れた。**(15-4) 後半(12-23) トータル 32-36**

3. 予選リーグ・男子 二試合目

3月28日（金）15:55～ 代々木第一体育館Eコート

苫小牧美園ミニバスケットボール同好会 VS 岡山県 西御南ミニバスケットボールクラブ

- 1 Q. 西御南に先制を許すも # 11 や # 9 のゴールで追い上げる。その後両センターの活躍が目立ち、西御南の # 5 は 177 cm の高さがありゴール下は強かった。(8-11)
- 2 Q. 相手 # 9 の連続ゴールに対し美園も # 7 や # 8 のゴール下のシュートで対抗。タイムアウト後、追い上げを図るがファールが重なり、5点差で前半終了。**(9-11) 前半(17-22)**
- 3 Q. 両チームともベストメンバーで臨む。互いにゾーンで守るが、3ポイント近くからのシュートを決めるなど共に譲らず、美園が3点差に詰めた。(6-4)

4 Q. 美園の# 8が連続で決め、2分過ぎには# 4のシュートで逆転した。西御南はタイムアウトを取りゴール下の# 5にボールを集めるもシュートまで行けず、逆に美園の# 9や# 4が立て続けにシュートを決めて突き放した。

(15-4) 後半(21-8) 後半 トータル 38-30

1勝1敗とし、翌日の西御南と山口との結果待ちとなったが、2勝した山口が準決勝、決勝と進み、結果的にブロック優勝した。それだけに、第一試合の4Qが悔やまれた。

4. 予選リーグ・女子 一試合目

3月28日(金) 14:50～ 代々木第一体育館Dコート

札幌札幌苗緑ミニバスケットボール少年団 VS 熊本県 太田郷ゴールデンスタース

1 Q. 敵に先制点を決められるが#15の得点ですぐに追いつき、#4がバスカンを決め、#9、#8も得点を重ねた。(10-4)

2 Q. ゾーンをうまく攻め、#5や#7がカットインやリバウンドを次々と決め大きく引き離れた。(12-4) 前半(22-8)

3 Q. 相手は1-3-1に変えたが、各選手の良さを生かしたプレーでさらに引き離れた。(12-7)

4 Q. 札幌苗緑のミスが続き、相手#4の連続得点でやや点差を詰められたが、大勢に影響はなかった。(8-13) 後半(20-20) トータル 42-28

5. 予選リーグ・女子 二試合目

3月29日(土) 10:35～ 代々木第二体育館Gコート

札幌札幌苗緑ミニバスケットボール少年団 VS 埼玉県 大宮中川ミニバスケットボール

1 Q. #15のシュート、#8のカットインと良い出だしだったが、動きがやや固かった。終盤、#8がフリースローをきっちり決め4点差で終了(10-6)

2 Q. 中盤にディフェンスにあおられてミスが続き、#8と#9に連続で決められて追いつかれ、そこでタイムアウトを取り、立て直しを図った。それでもディフェンスリバウンドがとれず、フリースローを立て続けに与えてしまう。しかし、その後は#13の得点から流れを作り、各選手が得点を重ね、再び突き放して後半につないだ。(15-9) 前半(25-15)

3 Q. 高さを生かし#9がエンドからのスローインに合わせ先にシュートを決めるが、相手は各選手がミドルやロングシュート、リバウンドシュートを確実に決める。相手の引いたゾーンによりオフェンスリバウンドが取れず苦戦し追い上げられる。(4-8)

4 Q. 立ち上がりから#6、#5、#9が連続ゴールを決め、相手はたまたまタイムアウトを取る。その後は互いに入れ合いとなり、相手に流れは渡さず、札幌苗緑が勝利とブロック代表を勝ち取った。

(15-8) 後半(19-8) トータル 44-31

* 事情があって最終日まで残れず、今思うと札幌苗緑がブロック優勝した試合を見られなかったことは、大変残念でした。以下、点数のみ日本ミニ連のHPから転載しました。

6. ブロケットーナメント準決勝

3月30日(日) 9:30～ 代々木第一体育館Aコート

札幌札幌苗緑ミニバスケットボー少年団 VS 兵庫県 明城ミニバスケットボールクラブ

| | 1 Q | 2 Q | 3 Q | 4 Q | トータル |
|------|-----|-----|-----|-----|------|
| 札幌苗緑 | 4 | 12 | 13 | 8 | 37 |
| 明城 | 9 | 2 | 6 | 4 | 21 |

7. ブロケットーナメント 決勝

3月30日(日) 13:40～ 代々木第一体育館Aコート

札幌札幌苗緑ミニバスケットボー少年団 VS 愛知県 昭和ミニバスケットボールクラブ

| | 1 Q | 2 Q | 3 Q | 4 Q | トータル |
|------|-----|-----|-----|-----|------|
| 札幌苗緑 | 13 | 10 | 4 | 10 | 37 |
| 昭和 | 10 | 8 | 7 | 10 | 35 |

8. 終わりに

昨年の男子の決勝進出(準優勝・札幌札幌苗緑ミニバス少年団)に続き今回は女子が優勝と、北海道は2年連続で素晴らしい結果を残しています。

最近は何のチームも同じだと思いますが、苫小牧美園や札幌苗緑も大会の2日前に現地入りし、近隣の市において他県のチームと練習試合を行ったと聞いています。札幌苗緑は愛知の「昭和」とそこで対戦しており、そのことも今大会の結果に結びついた大きな要因と考えます。出費はかさばりますが、子ども達にベストの状態で開催に臨んでもらうには致し方ないことかもしれません。

また、札幌苗緑の4人のコーチ・スタッフ陣の連携、選手達への関わりもうまく機能していたに違いありません。予選の2試合を見ていて、ゲーム中はもちろんのこと、アップや終了後の選手たちとの会話などの様子からそう感じました。各選手達もいろんなタイプのチームと対戦していく中で、一試合ごとに高さやスピードを生かし自分たちのプレーを進化させていったのではないのでしょうか。そして、毎年メンバーは入れ替わるとはいえ、全国大会出場回数や優勝回数が突出している愛知県の「昭和」を接戦で破って優勝したことは、本当にすごいことだと思います。

最後になりますが、全国大会という貴重な体験をした選手のみなさん、これからもバスケットを愛し、活動を支えてくれる周りの人々に感謝の気持ちを忘れず、日々の練習に励んでください。また、中学校へ進学された皆さんが、中学校の部活においても活躍されることを願ってやみません。

指導に当たってこられたスタッフの皆さん、日頃より活動を支えてくださっているチーム関係者の皆様には、今回の経験を生かし、これからも子ども達の指導・育成・ご支援にとご尽力くださることを切望いたします。

補 足 (全国大会の新聞報道)

他のマスコミにも報道されていたのかもしれませんが、朝日新聞と北海道新聞に写真入りで紹介されていました。朝日は全国大会の主催に名を連ねており、翌日の3月31日の道内版に「女子の札幌苗緑 ブロック優勝」というタイトルで掲載されていました。北海道新聞には、4月25日に「ミニバス全国優勝 札幌市長に成果報告」というタイトルで掲載されていました。

また、4月17日(夕刊)には「育て道産子バスケット選手」というタイトルで、都道府県

対抗ジュニア大会（ジュニアオールスター）において、道女子選抜が準優勝したことが取り上げられていました。

このように、マスコミに報道されることは、さらにバスケ愛好者を増やすことにつながると良い機会と考えます。昔に比べるといろいろなスポーツ活動が増えていますが、欲を言えば、全国大会ばかりではなく、道内の大会や各種イベント、日常の活動なども取り上げてほしいと思っています。